## 3/13(水)の発表

## 報道発表資料の配付日時 3月13日(水)10時00分

発表項目 (行事名)

令和5年度(2023年度)第2回タンチョウ越冬分布調査の結果について

記者レクチャーのお知らせ

 (実施日時)
 発表者

 発表場所

概 要

## 【ポイント】

絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、今年度2回目の調査を7(総合)振興局管内で実施し、前年度2回目の調査より22羽多い、1,366羽のタンチョウが確認されました。

1 調査実施日時等

	令和5年度(2023年度)第2回	[参考] 令和4年度(2022年度) 第2回
調査日	1月24日(水)~26日(金)※	1月24日(火)
調査区域	7振興局 35市町村	8振興局 41市町村
調査地区	計276地区(319箇所)	計279地区(348箇所)
調査協力者	関係市町村・給餌人など計182人	関係市町村・給餌人など計101人

- ※ 調査基準目:1月24日(水) 補足調査日:1月25日(木)~26日(金)
- 2 タンチョウ確認羽数

■ 令和 5 年度 その他、結果の (2023年度)

令和 5 年度 合計:1,366 [成鳥:1,168、幼鳥:148、不明:13、飼育個体:37]

うち野生個体:1,329 [空知:0、石狩:0、胆振:0、日高:9、十勝:94、

釧路:1,159、根室:67]

第2回

(2022年度)

第2回

│合計:1,344 [成鳥:1,173、幼鳥:130、不明:2、飼育個体:39]

うち野生個体:1,305 [空知:0、石狩:0、胆振:0、日高:4、オホーツク:0、

十勝:82、釧路:1,172、根室:47]

詳細については 以下のHPに掲載

https://www.p ref.hokkaido. lg.jp/ks/skn/ tantyou.html

- 3 今回の調査結果に対する有識者コメント概要 (有識者:正富宏之 専修大学北海道短期大学名誉教授)
- 釧路管内の羽数の割合は減少を示しているが、依然として釧路管内への 集中が続いている。
- 幼鳥の割合が高い水準を保っており、繁殖が良好だったとみられる。

参 考

報道(取材) に当たって の お 願 い 第2回調査では、関係市町村をはじめ多くの方々の御協力をいただいております。

また、本調査は、平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本 航空株式会社と協働で実施していますので、積極的な報道をお願いします。

他のクラブとの関係

同時配付 道政記者クラブ及び関係(総合)振興局記者クラブで配付しま同時レクす。

担 当

環境生活部 自然環境局 自然環境課(担当者: 課長補佐 橋本) 電話 ダイヤルイン: 011-204-5203 (内線24-352)

(連絡先)

公用スマホ: 011-585-6102 (内線24768)

胆振総合振興局 保健環境部 環境生活課(担当者:環境生活課長 徳永) 電話 ダイヤルイン:0143-24-9508 又は 0143-24-9577 (内線2950) 公用スマホ:011-585-6103 (内線35580)